

# 「教えて喜田先生!」子育てに悩む パパ&ママを応援!

学校法人喜田学園 通信制課程  
**東林館高等学校**

- ◎3年で高校卒業を目指すコース
- ◎受験対応個別指導コース
- ◎中学生コース・社会人コース

目的に合わせた幅広い学びを提供しています

福山市光南町1-1-35  
TEL.084-923-4543  
FAX.084-926-9607



●福山駅南口から徒歩で約10分

東林館 福山

●「コミュニケーションは「何を伝えるか」ではなく、「何が伝わったのか」が大切

親子のコミュニケーションにおいて大切なことは何でしょうか?いろいろあると思いますが、親が「子供に思いを伝え切った」と満足してしまう「自己満足」は問題のひとつではないでしょうか。

大切なのは「何を伝えたのか」ではなく、「何が伝わったのか」なのです。情報の発信源である親としては、しっかり伝えたいつもり。でも、情報を受け取る側である子供に伝わった内容は、親の思いとずれて生じている場合が少なくありません。

親が意図した情報を子供に伝える際に大切なことは「子どもが心を開いているか」ということだと感じます。「どうすれば子供が心を開いてくれるか」を考えた上で親が情報を伝えることで、親子のコミュニケーションはスムーズになります。

●「会話しやすい環境とは?」

そのために気をつけるべきことは何でしょうか。まずは、思いを伝えるタイミングや場所・時間帯などという環境に配慮しましょう。親も子も最も話をしやすい、耳を傾けやすい環境で会話することが大切です。

お子さんとの会話に悩む保護者の方に、お勧めしているのが車の中での会話です。子供と向き合っても話すことが難しくなってしまう親子関係だといきなり向き合っても互いに緊張してしまうからです。車の中なら、互いに同じ方向を向いて会話するので、過度な緊張感もなく話がしやすい環境と言えます。

環境が整ったなら、どう話を切り出すかが問題です。「親として言わなければならぬが、子どもにとっては聞きたくない話題」などは子供の心が閉じてしまう可能性が大きいでしょう。こんな時はどう切り出すかについては次のコラムで考えましょう。



喜田 紘平

東林館高等学校 理事長  
実践心理学カウンセラー

学び・自立支援を通して  
子どもの未来を創ります